学校番号	211

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代文演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	錬成現代文２＋　（尚文出版）						
副教材等	即戦ゼミ　入試頻出　新国語問題総演習　四訂版（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会に出たときに困らないよう、漢字・慣用句のみならず、経済用語・社会問題用語・科学用語など、外来語を含めて習得する。また、入試に向けての実践問題を解きながら、様々な文章を読み感性を磨いてゆく。

そのためには、事前に語句の意味調べや問題の予習・復習をしてほしい。

問題は、自身で解かなければ実力がつかないので、週に２時間以上の現代文に関する学習時間を確保すること。（曜日と時間を決めるのがよいでしょう）

100 字要約を毎回することで、読解力と記述力を養い、総合的な国語力をアップすることができます。

2　学習の到達目標

・文章を正確に読み取る力を高め、学力の向上と豊かな人間性の育成を目指す。
・問題演習を通して、正しい問題へのアプローチの方法と解答の作成パターンを身につける。
・様々な作品に触れることで、思考力・学びに向かう力を養い、また、時間内でより正確に文章を読み取る力をつける。
・自らの学習状況を把握し、学習の進め方を試行錯誤しながら学び進め自己を客観的に捉えられる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	進路実現に必要な国語の知識や技能を身につける。	「書くこと」「読むこと」の領域において、論理的に考える力と、問題本文の筆者の意見を正しくとらえることと、問題文の意図を正しく理解する力をつける。	進路実現に向けて、積極的に問題にとりくんだり、語彙を増やすために小テストに取り組んだり、また様々な本を読んだりしているか。文の要約の練習ができているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	評論・随想 ［教材］ 片岡義男「日本語の外へ」 串田孫一「孤独な蝶」 田中優子「布のちから」 佐伯啓思「20 世紀とは何だったのか」 竹内薫「仮説力」 池谷裕二「進化しすぎた脳」	a：文章の構成や展開の仕方について理解する。 a：語彙を豊かにする。 b：［読］言い換えや比喩、接続に注意して、文の関係を整理し正しく読み解く方法を理解する。 b：［書］明確な根拠となる部分を使い、簡潔に解答できるようにする c：主体的に調べ学習、問題文の要約に取り組む。	定期考査 課題	定期考査 課題	レポート 振り返りシート
	小説 ［教材］ 井上靖「あすなろ物語」 三浦綾子「塩狩峠」 芥川龍之介「英雄の器」	a：語彙を豊かにする。 a：比喩などの文学的修辞を理解する。 b：［読］リード文をよく読んで人間関係などを理解し、正しい答えに行き着く b：［書］明確な根拠となる部分を使い、簡潔に解答できるようにする c：文学史を確認し、時代背景や作者の派閥等をまとめる。	定期考査 課題	定期考査 課題	レポート 振り返りシート
二学期	評論・随想 ［教材］ 阿刀田高「日曜日の読書」 柏木博「デザインの教科書」 鷲田清一「都市の感情」 奥泉光「己を放り込む虚構」 見田宗介「社会学入門」 黒川伊保子「恋するコンピュータ」 小林秀雄「私の人生観」	a：文章の構成や展開の仕方について理解する。 a：語彙を豊かにする。 b：［読］言い換えや比喩、接続に注意して、文の関係を整理し正しく読み解く方法を理解する。 b：［書］明確な根拠となる部分を使い、簡潔に解答できるようにする c：主体的に調べ学習、問題文の要約に取り組む	定期考査 課題	定期考査 課題	レポート 振り返りシート
	小説 ［教材］ 平岩弓枝「花影の花」 川上弘美「センセイの鞄」 吉野弘「祝婚歌」	a：語彙を豊かにする。 a：比喩などの文学的修辞を理解する。 b：［読］人物関係について、リード文をよく読んで理解し、正しい答えに行き着く b：［書］明確な根拠となる部分を使い、簡潔に解答できるようにする c：文学史を確認し、時代背景や作者の派閥等をまとめる。	定期考査 課題	定期考査 課題	レポート 振り返りシート

三学期	評論・随想 ［教材］ 町田宗鳳「野生の哲学」 河野哲也「脳から身体・環境へ」 高橋玄洋「失われた道の豊かさ」 司馬遼太郎「明治百年」	a：文章の構成や展開の仕方について理解する。 a：語彙を豊かにする。 b：［読］言い換えや比喩、接続に注意して、文の関係を整理し正しく読み解く方法を理解する。 b：［書］明確な根拠となる部分を使い、簡潔に解答できるようにする c：主体的に調べ学習、問題文の要約に取り組む。	課題	課題	レポート 振り返りシート

4　学習の活動

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間
・書くこと　…　（　３５　）時間
・読むこと　…　（　３５　）時間